

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511526(P2000-511526A)

【公表日】平成12年9月5日(2000.9.5)

【出願番号】特願平9-542227

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 7/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/14

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/00 6 0 7 A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月28日(2004.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 5 月 28 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第542227号

2. 補正をする者

住 所 スウェーデン国エスー151 85 セーデルテイエ (番地なし)

名 称 アストラゼネカ・アクチエボラーグ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉



(外1名)

4. 補正命令の日付 (自発)

5. 補正対象書類名

請 求 の 範 囲

6. 補正対象項目名

請 求 の 範 囲

7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



方 式 登 録



請 求 の 範 囲

1. 治療的に活性な化合物 $\text{HOO}C-\text{CH}_2-(R)-\text{Cgl}-\text{Aze}-\text{Pab}$ またはその生理学的に許容される塩ならびに鎖長 6 ～ 12 炭素原子のアシル基少なくとも 1 個を含有するモノー、ジーまたはトリグリセライドの群から選択される 1 種または 2 種以上の吸収増強剤から構成される医薬組成物。
2. 吸収増強剤は 8 個の炭素原子を含有するアシル基を有するモノー、ジーまたはトリグリセライドの混合物から選択される請求項 1 記載の医薬組成物。
3. 吸収増強剤は 6 ～ 12 個の炭素原子のアシル基を有するモノーまたはジグリセライドの混合物から選択される請求項 1 記載の医薬組成物。
4. 吸収増強剤は 8 個の炭素原子のアシル基を有するモノーまたはジグリセライドの混合物から選択される請求項 1 記載の医薬組成物。
5. 吸収増強剤は 6 ～ 12 個の炭素原子のアシル基を有するモノグリセライドの混合物から選択される請求項 1 記載の医薬組成物。
6. 吸収増強剤はそのアシル基が 6 個の炭素原子を有するモノグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
7. 吸収増強剤はそのアシル基が 8 個の炭素原子を有するモノグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
8. 吸収増強剤はそのアシル基が 10 個の炭素原子を有するモノグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
9. 吸収増強剤はそのアシル基が 12 個の炭素原子を有するモノグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
10. 吸収増強剤は 6 ～ 12 個の炭素原子のアシル基を有するジグリセライドの混合物から選択される請求項 1 記載の医薬組成物。
11. 吸収増強剤はそのアシル基が 6 個の炭素原子を有するジグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
12. 吸収増強剤はそのアシル基が 8 個の炭素原子を有するジグリセライドで

ある請求項 1 記載の医薬組成物。

13. 吸収増強剤はそのアシル基が 10 個の炭素原子を有するジグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
14. 吸収増強剤はそのアシル基が 12 個の炭素原子を有するジグリセライドである請求項 1 記載の医薬組成物。
15. 治療的に活性な化合物 $\text{HOOCH}_2-(\text{R})-\text{Cgl}-\text{Aze}-\text{Pab}$ またはその生理学的に許容される塩ならびに鎖長 6 ～ 12 炭素原子のアシル基少なくとも 1 個を含有するモノー、ジーまたはトリグリセライドの群から選択される 1 種または 2 種以上の吸収増強剤から構成される混合物。
16. 吸収増強剤は、トロンビン阻害剤との凝集体を提供するミセルを形成する請求項 1 記載の医薬組成物。